

活用イメージの作成について

考え方

- 野幌森林公園エリアの再生に向けた基本構想として、平成30年12月に、「ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想」を策定。
- 構想の取組を具体的に推進するためのベースとして、**エリア全体の活用の方向性(イメージ)を整理。**

交流空間構想

【エリアのめざす姿】

自然豊かな周辺地域を含めたエリア全体を対象に、歴史、文化、自然を五感で「体感」し国内外から訪れる多くの人々と交流できる賑わいのある空間

施設毎

- ① 50年後のめざす姿
- ② 今後の方向性
- ③ 具体的な取組

博

○中核的博物館、道民参画型博物館としてさらなる魅力向上



村

○観光拠点、人材育成拠点としての活用



塔

○解体(安全、将来世代)
○新モニュメント設置
○思い出保存



公

○自然環境保全
○安心利用



検討の視点

- エリア全体(トータル)としての魅力発信。
- 懇談会(全3回)を通じて、テーマ毎(施設横断的)に、有識者から意見聴取を行い、庁内検討を経て決定。

□ テーマ1：賑わいのある空間

- 観光**
- 展示建造物や前庭(空間)等の有効活用(休憩カフェ、宿泊・文化体験、エコーパビリオン等)
 - 旅行者受入、発信力強化(通訳ガイド、キャスルス、ナイトイベント、SNS等)
 - 自然探索、ワークパーク、ストーリー展開(1日楽しめる)
 - リジナルグッズの開発、販売
 - アバンチャートラブルワールドサミット2021を契機とする魅力発信

食

- キッチンカー、ファーマーズマーケット等の誘致
- 無料エリアでの飲食物提供
- 民間や学生との新メニューの共同考案
- 食堂、売店運営事業者の公募
- 道産食材、ジビエ、郷土料理の提供

□ テーマ2：道民、地域への還元

- 地域**
- 道民割引制度の導入
 - 道内児童、生徒の利用拡大(修学旅行誘致等)
 - スポーツ利用(更衣室、シャワー設置、用具貸出等)
 - 子育て世代へのPR(水景、遊具施設の整備等)
 - 「記念塔前広場」の名称利用等

民間活力(ノウハウ・資金)の導入

完成イメージ

○ 活用イメージ(R2.5月完成予定)

- ・ 構想を補完するものとして、具体的な取組のベースとするもの。
- ・ エリア全体の取組を俯瞰できるよう、活用の方向性(イメージ)を地図上で表現。

▼ 完成後

活用イメージを基に施設の取組を推進。
(関連予算をR2当初予算案に計上)

博

- 新たな中期目標・計画の推進
- ・ 道民参加型組織の整備
 - ・ 館内施設の活用等

村

- 利活用方針の策定
- ・ 民間連携強化(体験、飲食等)
 - ・ 開拓の歴史、文化を継承等

塔

- 新モニュメント、広場のあり方
- ・ 新モニュメント公募手法検討(道民参加等)
 - ・ 塔前広場(空間)の利活用等

公

- 利用促進策の検討
- ・ 遊歩道等の整備手法等の検討